

令和 8 年度

全国学力・学習状況調査

調査結果の概要および改善の方向性について

【生徒・保護者用】



令和8年4月に3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について、本校の調査結果をお知らせいたします。

- 今回実施された国語・数学に関して、全国平均の正答率と比較して、本校の概要を示しました。
- 調査教科の課題を指導内容と照らし合わせ改善の方向性を示しました。
- 生活習慣や学習環境に関する調査について、顕著な項目についてまとめました。

「全国学力・学習状況調査」の全国の結果については、国立教育研政策研究所のホームページをご覧ください。 URL <http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

札幌市立宮の森中学校

調査結果の概要および改善の方向性について

【中学国語】

本校の概要

【学習指導要領の内容】

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、全国平均の正答率を上回っている。
- 「情報の扱い方に関する事項」については、全国平均の正答率を上回っている。
- 「話すこと・聞くこと」については、全国平均の正答率とほぼ同程度であるが上回っている。
- 「書くこと」については、全国平均の正答率を上回っている。
- 「読むこと」については、全国平均の正答率を上回っている。

今回の調査における課題

- 文章に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うこと。
- 情報と情報との関係を様々な表し方を理解し使うこと。
- 必要に応じて質問しながら話の内容をとらえること。
- 表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだすこと。
- 目的に応じて必要な情報に着目し、内容を解釈すること。

改善の方向性

- 漢字がもつ語義、同訓異字、同音異義語の意味の違いを理解させると共に、文章の作成や推敲等を通して、文脈の中で漢字や語句を正しく活用する機会を意図的に設定する。
- 情報の関係について理解し、活用できるように、接続語に着目して「意見と根拠」「具体と抽象」等の関係性を捉えられるようにする。また文章を構造的に捉えて読んだり書いたりする活動を充実させる。
- 話し合いの中で内容や論点を捉えながら聞く活動を充実させると共に、目的に応じた質問の仕方を指導する。
- 意見文や鑑賞文を書く活動において、表現の工夫やその効果に着目した相互評価の活動を意図的に仕組むと共に、文章を客観的に分析する力を育成する。
- 目的に応じて必要な情報を選択し、解釈する力を育てるために、読解の目的を事前に明確化し、可視化して提示する。また、収集した情報をもとに自分の言葉で再構築させるような活動を充実させる。

分類	区分	全国との比較
評価の観点	知識・技能	上回っている
	思考・判断・表現	上回っている
	主体的に学習に取り組む態度	—
問題形式	選択式	ほぼ同程度であるが上回っている
	短答式	上回っている
	記述式	上回っている



調査結果の概要および改善の方向性について

【中学数学】

本校の概要

【学習指導要領の領域】

□「数と式」については、全国平均の正答率を上回っている。

□「図形」については、全国平均の正答率を上回っている。

□「関数」については、全国平均の正答率を上回っている。

□「データの活用」については、全国平均の正答率を上回っている。

今回の調査における課題

●同類項の意味を理解すること。

●具体的な事象を基に、証明する事柄の仮定を見いだすこと。

●反比例の関係を表す表の特徴をとらえて、 x の値に対応する y の値を求めること。

●数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。

●箱ひげ図と四分位数の対応について理解すること。

●データの分布の傾向を的確にとらえ、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明すること。

改善の方向性

○具体例を用いながら、同じ文字や指数をもつ項をグループ分けするなど視覚的に理解できるような指導を心掛ける。

○事象から、仮定と結論を見出す練習を繰り返し、数学的に表現する活動を充実させる。

○ただの計算問題として捉えるのではなく、反比例の関係についての理解を図り、式・表・グラフなど様々なツールを活用しながら求めることができる力の育成を行う。

○生徒が自分の言葉で考えを説明し、実生活の事象と数学を結びつける活動を重視する。

○具体例を用いながら、データと箱ひげの図や四分位数、代表値などとの関係性について視覚的に理解できるような指導を心掛ける。

○様々な代表値や表からデータの分布の傾向を読み取り、根拠を示しながら説明する活動を充実させる。

分類	区分	全国との比較
評価の観点	知識・技能	上回っている
	思考・判断・表現	上回っている
	主体的に学習に取り組む態度	—
問題形式	選択式	上回っている
	短答式	上回っている
	記述式	上回っている



調査結果の概要および改善の方向性について

【中学英語】

今回の調査における課題

【学習指導要領の領域】

□聞くこと

- 日常的な話題に関する内容を聞き、概要をとらえること。

□読むこと

- 日常的な話題に関する内容を読み、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ること。

□話すこと・やり取り

- 言語の働きなどの知識を、話すことによる実際のコミュニケーションにおいて活用すること。

□話すこと・発表

- 社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すこと。

□書くこと

- 社会的な話題に関する内容を読み、要点をとらえ、考えとその理由を書くこと。

改善の方向性

○ 音声を聞く際、個々の語彙にとらわれず全体の流れや大意を捉えるリスニング活動を行う。視覚情報と音声情報を関連付け、文脈全体から要点を把握させる活動を重視する。

○ 目的に応じて必要な情報を素早く抽出する読解練習を行う。提示された複数の条件や自分の置かれた状況と英文情報を照らし合わせ、適切な判断を行う読解活動に取り組む。

○ 文法・語彙の知識を、即興的な対話に活用する言語活動を引き続き継続する。相手に応答しながらやり取りを継続・発展させる実践的なコミュニケーション力を育てる。

○ 構成モデルを活用し、筋道立てて自分の考えとその理由を発表する活動を段階的に行う。

○ 英文の要点を把握した上で、自分の考えと理由を論理的に書く指導を行う。型に沿った文章表現の練習を取り入れる。



生活習慣や学習環境に関する調査について

(1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の取組状況

①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善や主体的な学習の調整

単元の目標に向かって学習の見通しをもち、自分で学習方法を考えたり工夫したりしながら学びを進め、深めていく力の育成を大切にしてきた。今後は、学び方(方法・場所・相手)の選択肢の幅を一層広げ、より主体的で自律的な学習者の育成に努めていく。

□1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:88.9%** 全国:78.8%

(昨年度 本校:89.7% 全国:77.7%)

□1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:82.7%** 全国:70.8%

(昨年度 本校:83.5% 全国:70.6%)

□1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。

➡肯定的な回答[発表していた・どちらかといえば、発表していた] **本校:87.6%** 全国:65.5%

(昨年度 本校:88.6% 全国:63.0%)

□分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができていますか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:86.2%** 全国:78.2%

(昨年度 本校:90.8% 全国:77.5%)

□学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:90.1%** 全国:79.0%

(昨年度 本校:81.4% 全国:73.4%)

②個別最適な学び・協働的な学びに関する状況

ユニット学習や異学年交流を積極的に行うことを通して、生徒がそれぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換をして話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように工夫することと、生徒一人一人に応じた学習課題の提示や活動の工夫、授業のユニバーサルデザイン化を大切にしながら学習活動を実施してきた。今後もより一層の充実を図っていく。

□1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:85.1%** 全国:78.9%

(昨年度 本校:66.0% 全国:79.3%)

□授業や学校生活では、友達や周りの人の考え方を大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:93.9%** 全国:92.4%

(昨年度 本校:91.8% 全国:91.9%)

(2) ICT を活用した学習状況

①ICT 機器活用の活用状況や活用する自信

授業中におけるクロームブックの使用を、生徒の主体性に任せることに取り組み続けている。ICT 機器が、分からないことがあった時にすぐに調べたり、仲間と考えを共有したり比べたり、協力しながら学習を進めるために活用され、本校のユニット学習の効果を更に高めるための重要なツールとなっている。また、生徒会活動など、授業以外の場面でも、連絡用ツールとしてや、アンケートアプリでの意見集約ツールとしてなど、その活用は日常的で多岐にわたる。更に、生成 AI パイロット校として、学びの支援のための生成 AI の活用方法を探ってきた。今後は「紙を読むこと、紙に書くこと」と「デジタル」それぞれの良さを比較検討し、場面や生徒の特性に合わせたより効果的な活用の仕方を探っていく。

☐ 1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用しましたか。

➡肯定的な回答[ほぼ毎日・週3回以上] **本校:99.9%** 全国:78.2%

(昨年度 本校:97.9% 全国:76.5%)

☐ あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器で文章を作成する(文字、コメントを書くなど)ことができると思いますか。

➡肯定的な回答[とてもそう思う・そう思う] **本校:93.8%** 全国:84.8%

(昨年度 本校:92.8% 全国:83.6%)

☐ あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する(検索する、調べるなど)ことができると思いますか。

➡肯定的な回答[とてもそう思う・そう思う] **本校:95.0%** 全国:90.9%

(昨年度 本校:92.8% 全国:91.5%)

☐ あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができると思いますか。

➡肯定的な回答[とてもそう思う・そう思う] **本校:82.7%** 全国:69.4%

(昨年度 本校:84.5% 全国:63.3%)

☐ あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができますか。

➡肯定的な回答[とてもそう思う・そう思う] **本校:88.9%** 全国:80.0%

(昨年度 本校:95.9% 全国:76.6%)

(3) 学習に対する興味・関心・理解度や社会とつながる学び

①国語に関する状況

対話を重視した学習活動に加え、自らに合った学習方法を選択させる工夫を通し、対話的で主体的な学びの基盤を確立してきた。また、学習過程と学期末におけるフィードバックを充実させたことが、生徒の理解と学習意欲の向上につながった。今後は、国語科での学びが社会や日常生活のどのような場面で生きるかという目的意識を高め、その有用性を実感できる授業づくりの工夫を図る。

☐ 国語の勉強は好きですか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:61.8%** 全国:57.2%
(昨年度 本校:50.5% 全国:57.9%)

☐ 国語の授業の内容はよく分かりますか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:85.2%** 全国:76.8%
(昨年度 本校:64.0% 全国:77.0%)

☐ 1,2年生の時に受けた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれましたか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:88.9%** 全国:71.8%
(昨年度 本校:73.1% 全国:70.2%)

☐ 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:85.2%** 全国:88.2%
(昨年度 本校:79.4% 全国:88.3%)

☐ 1,2年生の時に受けた授業では、国語の授業で、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめていましたか。

➡肯定的な回答[している・どちらかといえば、している] **本校:98.7%** 全国:84.8%

☐ 1,2年生の時に受けた授業では、国語の授業で、文章を書いた後に、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしていましたか。

➡肯定的な回答[している・どちらかといえば、している] **本校:92.6%** 全国:76.1%

②数学に関する状況

数学への興味や授業理解度、問題解決への粘り強さが向上し、全国平均を上回る成果が見られた。
一方、学習内容の生活への活用や考え方の説明活動、将来への有用感については課題が残る。今後は、学びを社会や日常生活と結びつける指導の充実を目指す。

☐ 数学の勉強は好きですか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:75.3%** 全国:56.1%
(昨年度 本校:61.8% 全国:53.8%)

☐ 数学の授業の内容はよく分かりますか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:85.2%** 全国:74.2%
(昨年度 本校:75.2% 全国:70.3%)

☐ 1,2年生のときに受けた授業では、数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えましたか。

➡肯定的な回答[している・どちらかといえば、している] **本校:86.4%** 全国:77.8%
(昨年度 本校:84.6% 全国:76.2%)

☐ 1,2年生のときに受けた授業では、数学の授業で、どのように考えたかについて説明をする活動をよく行っていましたか。

➡肯定的な回答[している・どちらかといえば、している] **本校:58.0%** 全国:60.4%
(昨年度 本校:49.5% 全国:58.6%)

☐ 1,2年生のときに受けた授業では、文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、書かれていることを理解することができましたか。

➡肯定的な回答[している・どちらかといえば、している] **本校:76.5%** 全国:68.4%
(昨年度 本校:75.3% 全国:67.1%)

☐ 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか。

➡肯定的な回答[している・どちらかといえば、している] **本校:69.1%** 全国:76.5%
(昨年度 本校:75.2% 全国:75.2%)

☐ 1,2年生のときに受けた授業では、数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できていましたか。

➡肯定的な回答[している・どちらかといえば、している] **本校:59.3%** 全国:63.0%
(昨年度 本校:64.0% 全国:57.9%)

③英語に関する状況

日常的にチャッツやスモール・トークなどの活動を行い、対話力を培う取組を行ってきたことが、ほとんどの問題で全国平均を上回る正答率につながった一因であると思われる。今後は ICT 端末等を活用し、さらなる発信力の向上を目指していく。

☐ 英語の勉強は好きですか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:61.7%** 全国:51.2%

☐ 英語の授業の内容はよく分かりますか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:71.6%** 全国:64.2%

☐ 1,2年生の時に受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語を問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていましたか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:93.8%** 全国:85.1%

☐ 1,2年生の時に受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていましたか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:88.9%** 全国:82.8%

☐ 1,2年生の時に受けた授業では、キーボードを使って英語を書く活動をどれくらい行いましたか。

➡肯定的な回答[よく行った・どちらかといえば、行った] **本校:55.6%** 全国:61.3%

☐ 英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:91.4%** 全国:87.6%

☐ 将来、積極的に英語を使うような生活をしたたり職業に就いたりしたいですか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:62.9%** 全国:34.1%

④総合的な学習の時間、学級活動、道徳や実生活につながる学びに関する状況

「世界は自分たちの手で変えることができる」というスローガンのもと、社会課題の解決をテーマとした PBL (Project-Based Learning) や、生徒の自治的な活動を中核とした生徒会活動など、生徒の主体性を育成するための取組の充実化を図ってきた。今年度は、コミュニティ・スクールの仕組みとも関連付け、子どもたちのアイデアを地域というフィールドで具現化する活動にも取り組み始めた。更なる充実を目指していきたい。

☐総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を整理して、調べたことを発表するなどの学習に取り組んでいますか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:97.6% 全国:80.8%**
(昨年度 本校:93.8% 全国:79.5%)

☐総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどの ICT 機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていますか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:95.1% 全国:81.7%**

☐あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:95.1% 全国:84.5%**
(昨年度 本校:87.6% 全国:84.3%)

☐学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。

➡肯定的な回答[している・どちらかといえば、している] **本校:87.6% 全国:77.8%**
(昨年度 本校:87.7% 全国:77.3%)

☐道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級のグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。

➡肯定的な回答[している・どちらかといえば、している] **本校:97.6% 全国:91.3%**
(昨年度 本校:93.8% 全国:91.5%)

☐学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。

➡肯定的な回答[している・どちらかといえば、している] **本校:93.8% 全国:87.0%**
(昨年度 本校:86.6% 全国:84.7%)

☐授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができていると思いますか。

➡肯定的な回答[している・どちらかといえば、している] **本校:86.4% 全国:78.0%**
(昨年度 本校:80.4% 全国:74.8%)

(4) 生徒のウェルビーイングに関する状況

「地域や社会をよりよくするために何かしてみたいと思うか」という問いに対して肯定的に回答する生徒の割合が、増加してきている。小中一貫教育グランドデザインでも、「身につけたスキルや深めた知識を誰かのために使う感性と知性をもつこと」を15歳での目指す姿のひとつに掲げ、教育活動に取り組んできた。

「自分にはよいところがあると思うか」「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思うか」「友達関係に満足しているか」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいあるか」との問いに対して約90%の生徒が肯定的に回答している。「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」と、他者との違いを肯定的に捉えることができる生徒の育成は、多様性が広がる一方で分断の進む現代社会において、その重要性は増す。他者や地域、社会に目を向けることと、自己の肯定感や有用感の高まりには関連性がある。今後も「一人一人が大切にされている」と実感できる学校づくりを目指し、課題探究的な学習や地域・社会・世界と繋がる授業づくりや、生徒の自治的な活動の推進により一層力を入れていきたい。

☐ 自分には、よいところがあると思いますか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:93.9%** 全国:84.0%
(昨年度 本校:89.7% 全国:86.2%)

☐ 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:96.3%** 全国:90.9%
(昨年度 本校:91.8% 全国:92.2%)

☐ 将来の夢や目標を持っていますか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:77.8%** 全国:67.6%
(昨年度 本校:84.5% 全国:67.5%)

☐ 学校に行くのは楽しいと思いますか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:82.7%** 全国:85.4%
(昨年度 本校:85.6% 全国:86.1%)

☐ 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:88.9%** 全国:78.6%
(昨年度 本校:86.6% 全国:79.2%)

☐ 友達関係に満足していますか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:92.6%** 全国:91.2%
(昨年度 本校:92.8% 全国:89.4%)

☐ 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。

➡肯定的な回答[よくある・ときどきある] **本校:88.8%** 全国:91.0%
(昨年度 本校:86.6% 全国:91.6%)

☐ 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:81.5%** 全国:72.3%
(昨年度 本校:73.2% 全国:75.3%)

☐ あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:74.1%** 全国:67.5%

(5) 生徒の生活習慣に関する状況

「朝食を毎日食べているか、毎日同じ時間に起きているか、毎日同じ時間に寝ているか」との問いに対しては、全国平均と同程度の割合が肯定的に回答している。スマートフォンなどの使用について、1日2時間以上 SNS や動画視聴をする生徒の割合は、全国平均を10%以上下回る。規則正しい生活や睡眠の重要性については、保健だよりや保健の授業などを通して理解を深めていきたい。

□朝食を毎日食べていますか。

➡肯定的な回答[している・どちらかといえば、している] **本校:91.8%** 全国:90.9%

(昨年度 本校:95.8% 全国:91.2%)

□毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

➡肯定的な回答[している・どちらかといえば、している] **本校:79.0%** 全国:80.5%

(昨年度 本校:80.4% 全国:81.0%)

□毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。

➡肯定的な回答[している・どちらかといえば、している] **本校:92.6%** 全国:92.4%

(昨年度 本校:91.8% 全国:92.6%)

□普段、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等で SNS や動画視聴などをしますか。

➡4時間以上 **本校:21.0%** 全国:28.8%、 3～4時間 **本校:17.3%** 全国:20.8%

2～3時間 **本校:23.5%** 全国:25.3%、 1～2時間 **本校:23.5%** 全国:16.9%

30分～1時間 **本校:4.9%** 全国:5.1%、 30分以下 **本校:6.2%** 全国:1.9%